

## 小林淳一君を訪ね秋田に

中山正光（11組）

11月19、20日、秋田県立大学の理事長兼学長を務める同級の小林淳一君（11組）を訪ねて、秋田へ赴きました。筆者（中山）と同行したのは同級生の岡田修君と清水公男君の二人です。小林君の任期が来年3月一杯ということを目にしていまして、「秋田に行こう」と同級生に呼び掛けたところ、当初は大勢（12名）の賛同者がいたのですが、コロナ禍もあり、結局3名となりました。

交通費は往復割引、大人の休日倶楽部活用、ホテルは天然温泉ルートイングランディアの割引クーポンを利用しました。

19日は小林君の行きつけの「みや川」という郷土料理割烹で、久しぶりの再会をしました。【写真1】

翌20日は小林君が16年間勤務した秋田県立大学秋田キャンパスへ。立派な理事長室での歓談後、同キャンパスには800人の学生しかいないのに、敷地面積41ha、施設延べ面積37,000㎡（11,400坪）以上ある敷地と校舎を散策しました。同校の学生数は全体で1,800人とのことでした。

小林君は秋田県では超有名人で、講演会はひきを切らないそうです。

これだけ大きな大学を運営している意思決定と対応力に感心しました。

行き帰りの小林君の運転する自家用車では両側の松並木とたくさんの風車群にも驚きました。

280坪もある理事長官舎でコーヒーをいただいて、近くのレストランでの昼食後、最後は県立秋田美術館で「画家 岸田劉生の軌跡展」や常設展で藤田嗣治の作品などを鑑賞してお開きとなりました。楽しい旅でした。

### 《現地仲間を迎えた小林淳一君から一言》

中山さん、岡田さん、清水さん、はるばる秋田までお出でいただき有難うございました。何年間も延び延びになっていた「秋田旅行」が中山さんの積極的な呼びかけでついに実現しました。皆さんに会って本当に良かったと思います。

楽しい会話の中に、それぞれの考え方が見えて、高校の時とさほど変わっていないことが分かりました。

もうじき、後期高齢者になります。みんな身体の不調を抱えています。少しでも前向きに考え、社会とのつながりを続けていければと感じています。

写真1：割烹「みや川」にて、左から中山、小林、岡田、清水



写真2：秋田県立大学秋田キャンパスにて



(2022年11月22日記)

以上